

者で、基地関係は昨年末防衛庁関係から基地押上げとの交渉とされ、ハースの獨生
町には平均百という関係から排他的なわけであり、特に汲取りや引当り内
題が起る所り、真に飲料水の確保からは人と地下水は不可能という段階で幸い
しく獨生町への关心點はさうせんかしかし地下水の浅い所は不可能となる所りなり。
さういう関係から今後基地排水を併用して福美工業として全般的排水とするもの
と確信があるところであり、この併用するにしても早く完成といふような要望し
て貰ふこととは結構なものとしか確信がある。従って事業はねたのでござりまする
が本議会の功がかりしてもよろしくおめあられ人事を依頼申し上げる事。

二、小より委員長報告に就き、質疑を行ひます。

一、十八疊大野村大
議長

議長(利根下着) 十八番

二十人番大野村大
たさいの報告で十分なりをのみぐ中し附林に於ける計費を理
事やさいマウと報告のみなりたその計費はどのような計費で、どう
ようにならる

いこのみ現存する切符範囲は、すくなく切符并願いたと用ひる。

議長商榷查一町長

一、町長石川清一郎 異体のいとうとうきよめかききんか現在国から子供ばかりに
運動の切手し異体のいとう類は作ら切手か若しくは担当課長の
節のいとう。

議長 高橋 不登
副議長 田中 謙吉

[illegible]

一十八番大野村米一袋長

午前十一時四十分

右会議次第は書紙市川昭利の記載したものを参考とする内容の正確なる
事は証するものとする

昭和十九年十月十四日

福生町議長

南橋千春

議員

杉本公雄

議員

小堀仁七

議員

堀野鉄之助

昭和十九年十月十四日

第四回 福生町議会定例会々議録(第一日目)

第四回

昭和九年十月十四日第四回福生町議会定例会名簿録(第一頁)

一 昭和九年十月十四日第四回福生町議会定例会名簿録(第一頁)

一 出席議員の氏名及び所属

一番 川田忠蔵 二番 加藤清一 三番 田村直雄

四番 大沼秀伍 五番 林幸男 六番 神野繁栄

七番 石川信義 八番 細沢晋一 九番 中西茂蔵

十番 青藤博 十一番 大久保一郎 十二番 高崎豊吉

十三番 杉本浩雄 十四番 小澤仁七 十五番 堀野敏之助

十六番 谷田博 十七番 花本苗大 十八番 大野行大

十九番 村野弘 二十番 石橋吉 二十一番 堀川英

二十二番 中村国太 二十三番 岸茂 二十四番 高橋千春

一 不出席議員の氏名及び所属

不出席議員なし

一、此議決は次の通りである。

一番 川辺忠蔵 二番 加藤清一 三番 田村重雄

四番 大沼秀恒 五番 林幸男 六番 石川信義

七番 細利晋一 八番 中西虎蔵 九番 青野博

十番 大久保一郎 十一番 高崎豊吉 十二番 杉本昌雄

十三番 小澤仁七 十四番 福野秋太郎 十五番 岩田博

十六番 坂本善夫 十七番 大野行夫 十八番 村野弘

十九番 上石信吉 二十番 堀川実 二十一番 中村田太

二十二番 岸 茂 二十三番 高橋千春

一、大正議員は次の通りである。

廿番 神野隆雄

一、議事事務局の職員は次の通りである。

議事事務局長 島田 豊 書記 野崎 薫 市川 昭利

一、地方自治法第三十条の規定により、今議事の説明のため出席を求めたものの欠けである。

町長 石川善太郎 助役 森田幸造 収入役 秋山誠一

教育長 篠崎俊夫 総務長 大野忠一 警備長 橋本孝蔵

農林長 黄井喜代次 衛生長 森田 盛 生田国利

建設長 町田信二 土木長 上野重勝 商工長 高木 水

労働長 田村忠雄 農業長 古谷徳男

一、本町の議事は次の通りである。

議第一、今議決署名議員の指しつけ。

議第二、会期決定について。

議第三、東京市町村職員退職手当組合の改定について。 (議案第一〇九号)

議第四、青梅市町村職員退職手当組合の改定について。 (議案第一一〇号)

議第五、町道路線の廃止について。 (議案第一一一号)

議案第一二二號

議案第一二三号

議案第一四号

性別會計補正手算表

議案第一五号

議案第一〇五号

合計歲入歲出決算表

議案第二十号

吳昌碩

議案第一八号

不特列會計歲入歲出

議案第二十九号

山溪算總定以つて

福生町議 会

議案第一二〇号

昭和三十年及稻生町公畜舎屋特別付料裁減の決算認定について

議案第一二一號

星房古、休育園男女託體置人美才、諸願書

續編 十六

是稿十七、年未手当以関寸乃陳情書、(職組)

陳情第 五号

卷十六 年未寺堂八因乃陳情書（夾封）

陳情第 廿五

星房十九、
年来寺堂に閑す所の陳情書（縁のあて人）

陳情第X号

日程第六、一般質問

一本目は會議並に決り下す。

鐵道工程と同じである。

用議 午前九時十分

一議長(商榷干春) 望人切草より。年木何故と切脱し。所尋故州出席

いたが、下鉄に湖苔が着く。大いなる昭和辛卯年度第四編

第議會定例会を出席いたし奉り、出席議員は現在三千名を越えり奉り、
よつて本日又會議は成るゝと申し大、大にちよ本日又會議を申さ奉り。且雖に有
期に對し、かゝり供物願ひ奉り。

一町長石川清太郎 登壇

決議を申し上り。本日第四回臨時議事定例会開催に際し、年末清算に付
 い所収放切出庫いたがさすして誠にありがとうございました。理事者一同も銘謝
 とし、出席させていただきありがとうございました。本日は辛くも年度報告、般々計金般、特別会
 計といえしは、お預け計関係を除く五会計の決算認定、福生都市計画衛生
 土地整理理事業特別会計補正予算一件、その他各議案と上程させて頂いたござい
 した。よく慎重審議を繰り返して、お認定及び協議決まいただきましたこと、お頼み申
 し上げます。尚この際三教店さまにいただきましたお礼状、昨日懸念であつた防火貯水
 槽の大きさとして満水にいたしましたので報告いたします。簡單なご意見あり
 ければいかゞござります。

議長(高橋千春) 日程第一、会議録署名議員の指を發行し奉り。會議録署名議員の
指及び會議規則第九条の規定により議長に於て指をいたし奉り。十八番
岩田議員、十七番坂本議員、十六番大野議員以上三名の方にお願いをいたし
奉り。尚署名議員は本会期中止にしてお願いをいたし奉り。議長より報告事
項あり奉り。少くも報告をいたし奉り。十九日午に開催された関東ブロックの議決會
長會議に際して、東京都の議長会から健闘をいたすした儀願ひあり奉り。又
局長として朗詔をいたし奉り。

議事事務司長(島田好一)

一議長(高橋不登) 本件は右長会で審議するに依つて之を全国議長会に提出することになつた事なり。又田家知頼は、次に東京都議長会を審査せしより、本しき月、自らもつて衆参両院議長に対して請願書を提出した。その為、朗読した。さす。

議事部長(島田繁)
副総

一議長(高橋平吉)
諸君の内容は以上でございませう。その次願います。

一議長高橋平春一
日程三 会期決定ハツテ之議題ハ後年。本件ハツテ議

金運也委員会に於て旅費之取切り等より委員長の報告願ひ奉。

二十六 燕岩田博 議長

一、議長 南橋千春 十六番

一、立齋岩田博一 登壇

お事ようございませう。本年は数度の定例会の開催に際し、各町市町議会議会運営委員会を立ち上げ、議案日課会期所について審議いたしておしたので報告いたします。今回提出されたのは十ヶ所ですが内容は一部変更と新設の方で、町道の廃止変更のみです。区政整理補正予算の中で水道会計を除く支会計の決算認定が一件諸般の中で陳情が多くとなっております。一般質問については二件送付三ヵ月前です。尚今期については早稲穂と東米都町村職員退職手当組合の設置についてから米津五町村をつくらぬマカリオレのものも退職金退職金に同じ都下町村が一部署務

福生町議会

組合的なる組織し、明年四月から発足させ今後はこの組合から退職金の支給に
てすべしとの組合に入りようとする町村は数多準備のため事前の規則を
設け置く必要のあるものなり、本町審議の上採決付託される事を願す。
程第四つは、一市前の都市下水路組合の部改正で、その内容は簡単なよう
で、ごり等の二即ち五を依頼いたし奉。程第五から程第八までは町道路線の
廃止と変更であり、又、日程第九から程第十五までは都市計画の補正予算と一般会
計、第八小学校改善事業、と高岡、都市計画整理事業、国保、公営団地の各会計
の決算認定であり、それ以外の各新管委員会に付託され、本町審議願いたしと
思います。尚、般会計の決算については委員会に切ぐも決定に御意見を述べられし
たが、総務委員会に付託される事か、よろしかろうとある結論に達せられたので、
お預ります。日程十七からは町島からある松原体育園、町の児童公園園地して
いる事につき市との間に委託措置の交渉を構じていたなどという趣旨であ
る、ごり等が校則詳細の説明があり、思いやりのなか、本町も所管委員会に付託する